

平成19年度 第1回

発注企業生産現況調査報告書

【概要】

- ・生産現況：BSI値は3四半期ぶりにマイナスゾーンへ
- ・生産見通し：BSI値が再びプラスゾーンへ回復、大幅な落ち込みを見せた「輸送」をはじめとする県内基幹3業種もプラスゾーンで推移する見込み

財団法人神奈川中小企業センター

目 次

1	調 査 概 要	
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査期間	1
(4)	調査方法	1
(5)	回収状況	1
	回答企業数	1
	回答企業の概要	1
2	調 査 結 果	
(1)	生産現況と生産見通し	2
(2)	外注利用状況	3
	外注依存度	3
	外注依存度の変化	3
	現在の下請企業数と地域	4
	外注加工内容	5
(3)	今後の外注方針	6
(4)	外注先を探す手段	6
(5)	外注先の選定基準	6

1. 調査概要

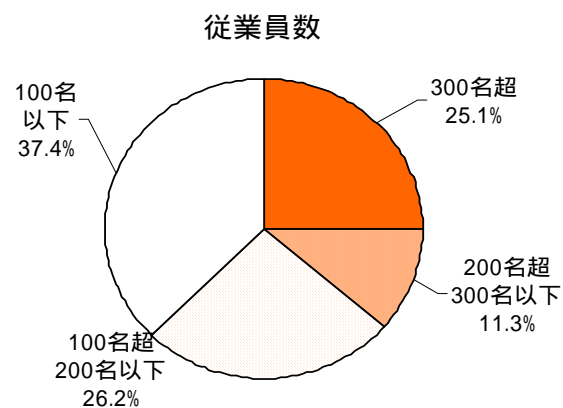
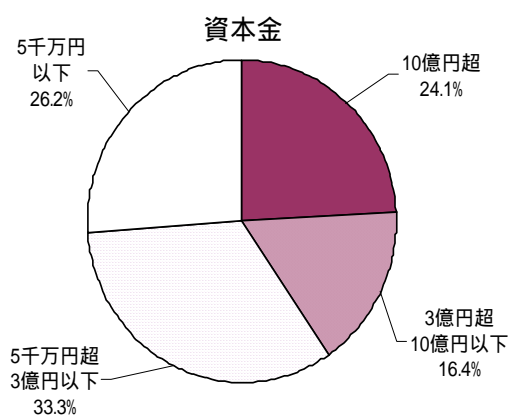
- (1) 調査目的 県内発注企業の生産現況と今後の見通し等を把握するとともに、県内下請中小企業の受注機会拡大を図るための資料とする為
- (2) 調査対象 (財)神奈川中小企業センターのデータベースより抽出した、資本金 3,000 万円以上の県内発注企業
- (3) 調査期間 平成 19 年 6 月
- (4) 調査方法 別添調査用紙によるアンケート方式
- (5) 回収状況
回答企業数

調査対象企業数	回答企業数	回答率
500社	195社	39.0%

回答企業の概要（集計表 1）

回答企業 195 社の資本金別内訳は、「5,000 万円超 3 億円以下」が最も多く 65 社（33.3%）、「5,000 万円以下」が 51 社（26.2%）、「10 億円超」が 47 社（24.1%）で続き、「3 億円超 10 億円以下」が 32 社（16.4%）となっている。

従業員別では、「100 名以下」が 73 社（37.4%）で、以下「300 名超」が 49 社（25.1%）、「100 名超 200 名以下」が 51 社（26.2%）、「200 名超 300 名以下」が 22 社（11.3%）となっている。

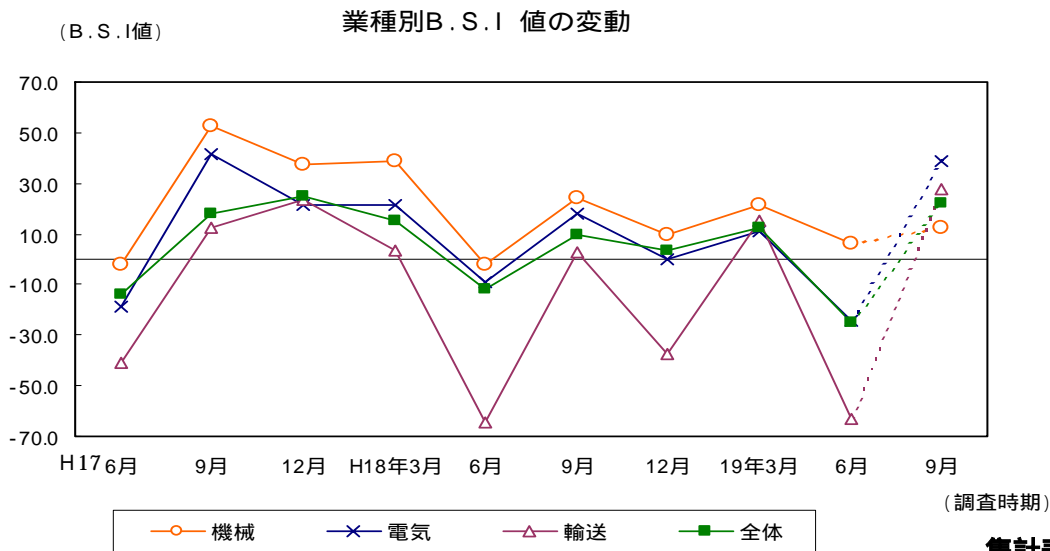


集計表 1

2. 調査結果

(1) 生産現況と生産見通し (集計表2)

下図は、四半期ごとに実施している生産状況調査結果を景況判断指数であるB.S.I値に置き換え、2年間(平成17年6月～19年9月)の推移を対象企業全体と本県の基幹産業である「機械」、「電気」、「輸送」の3業種についてグラフ化したものである。



B.S.I値(ビジネス・サーベイ・インデックス) = 上昇企業数割合 - 下降企業数割合

B.S.I値は、上昇・下降などの変化方向別回答企業数の構成比から全体の情勢を判断するもので、例えばB.S.I値が下から上に向かって0線を横切る時は、マイナスゾーンからプラスゾーンへの移行を意味し、これから上昇過程に入ると見る。

B.S.I値による生産動向・見通し

県下発注企業全体の生産動向については、前回調査と比較して37.2ポイントの下降となり、3四半期ぶりにマイナスゾーンへ移行した。

県下の基幹産業である「機械」、「電気」、「輸送」の3業種についてみると、前回調査(3月)まではすべてプラスゾーンで推移していたが、今回調査(6月)では機械を除きマイナスゾーンに移行した。特に「輸送」については、前回調査時と比較して78.7ポイントの下降を示す結果となった。

今後3ヶ月先の生産見通しについては、一転して県下の基幹産業3業種はいずれもプラスゾーンへ回復する見込みであり、全体でも47.3ポイントの上昇を予測している。

業種 調査時期	鉄鋼	非鉄	金属	機械	電気	輸送	精密	その他	全体
18年6月調査時	0.0	-10.0	4.2	-1.8	-9.1	-64.3	8.3	-6.7	-11.6
18年9月調査時	33.3	-23.1	8.7	24.4	18.2	3.0	20.0	-5.0	9.8
18年12月調査時	0.0	0.0	16.7	9.4	0.0	-37.5	-8.3	22.5	3.7
19年3月調査時	66.7	-50.0	15.4	21.4	10.9	15.4	18.8	-3.0	12.3
19年6月調査時	-33.3	-20.0	0.0	6.4	-23.9	-63.3	-84.6	-27.6	-24.9
19年9月見通し	33.3	20.0	30.0	12.5	39.1	27.6	33.3	0.0	22.4

(2) 外注利用状況

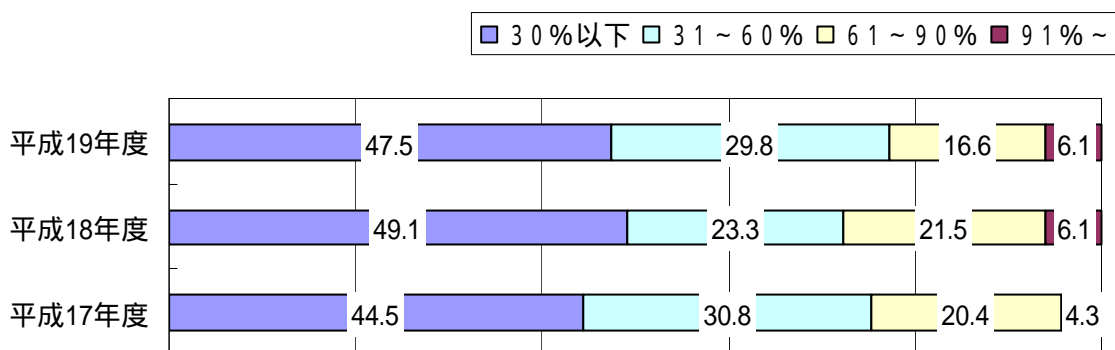
外注利用状況については、昨年度まで特に大きな変化が見られなかったが、昨年度後期以降各企業ともコスト・技術面等から外注利用の見直しの時期にあったためか、各数値に若干の変動が見られた。

外注依存度（集計表3 - 1）

外注依存度について、「3割以下」、「3割から6割」、「6割から9割」、「9割以上」に分けると以下のような結果である。昨年度同様、3割以上利用している企業が半数を超しており、「3割から6割」の企業が6.5%増加。「3割以下」の企業が1.6%減少するなど、外注依存度は上昇傾向である。

〔* 回答企業は195社。ただし、無記入項目がある場合は有効回答から除く。以下同じ〕

外注依存度

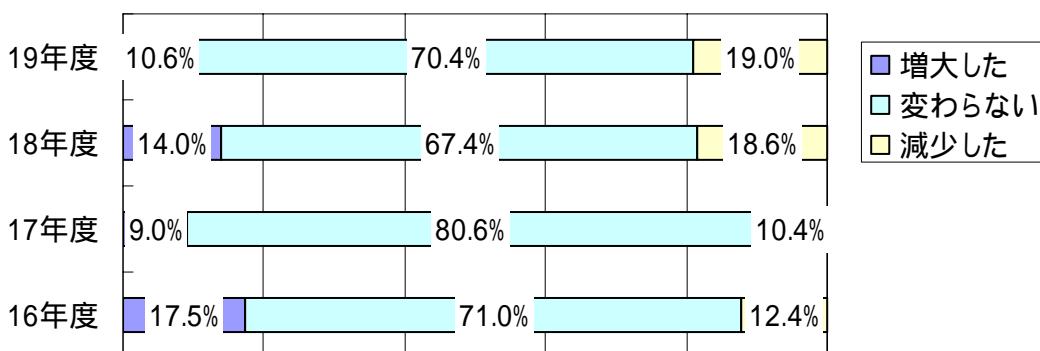


集計表3 - 1

外注依存度の変化（集計表3 - 2）

外注依存度を昨年度と比較した場合に関する問いに対し、「変わらない」が最も多く全体の約7割を占めており、その比率は昨年度対比で3%増加している。また、「減少した」と答えた企業がほぼ同じ、「増大した」と答えた企業が3.4%減と数値が変動しており、各企業において生産体制の変化に伴った外注先の絞込みがある程度進んでいることが推察される結果となっている。

外注依存度の変化割合



集計表3 - 2

現在の下請企業数と地域（集計表3 - 3 - 1、3 - 3 - 2）

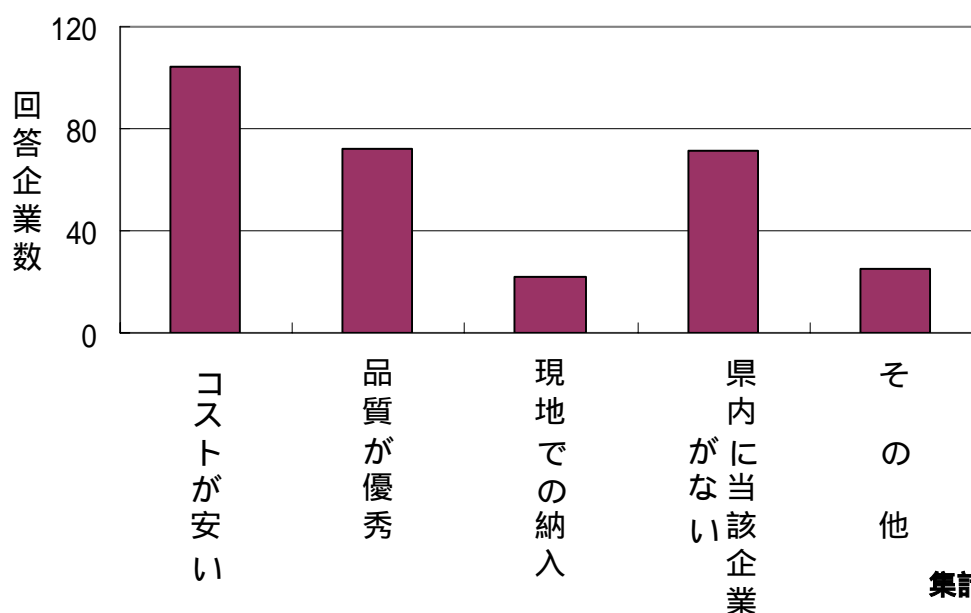
回答をいただいた企業が取引している下請企業数を合計すると17,449社となった。地域別に見ると、神奈川県内が5,923社、県外が10,373社、そして海外が1,153社となっている。

また、県外の外注企業を利用している場合、その主な理由についてたずねたところ（複数回答可）104社が「コストが安い」を上げており、続いて「品質が優れている」（72社）続いて、「県内に当該の加工企業がない(少ない)」（71社）となっている。「その他」としては、生産拠点・体制の変動等に伴う利用外注先の集約、従来からの取引先であることや、発注企業の指定業者であるため等の理由が挙げられていた。

業種	地域内訳				合計
	回答企業数	県内	県外	海外	
鉄鋼	3	42	27	0	69
非鉄	9	131	142	0	273
金属	24	297	333	13	643
機械	54	2,210	2,370	263	4,843
電気	44	1,016	1,397	567	2,980
輸送	27	1,615	5,384	298	7,297
精密	12	332	413	6	751
その他	27	280	307	6	593
合計	200	5,923	10,373	1,153	17,449

集計表3 - 3 - 1

県外の外注企業を利用する理由

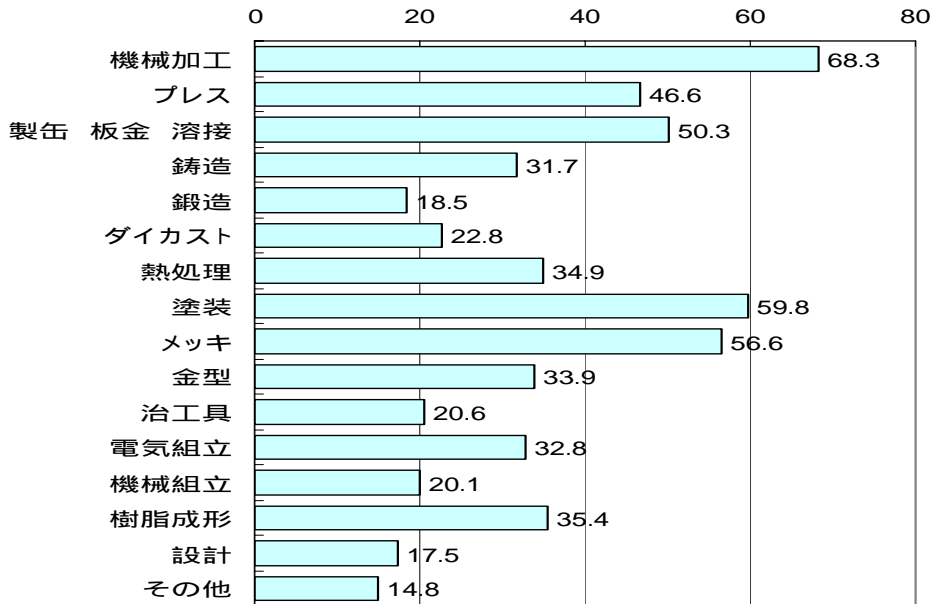


集計表3 - 3 - 2

現在の外注加工（集計表3 - 4）[複数回答]

回答企業 189 社が、現在下請企業に対して外注している加工内容は、「機械加工」が最も多く 68.3%、以下「塗装」が 59.8%、「メッキ」56.6%、「製缶・板金・溶接」が 50.3%と続いている。

外注加工の割合（%）

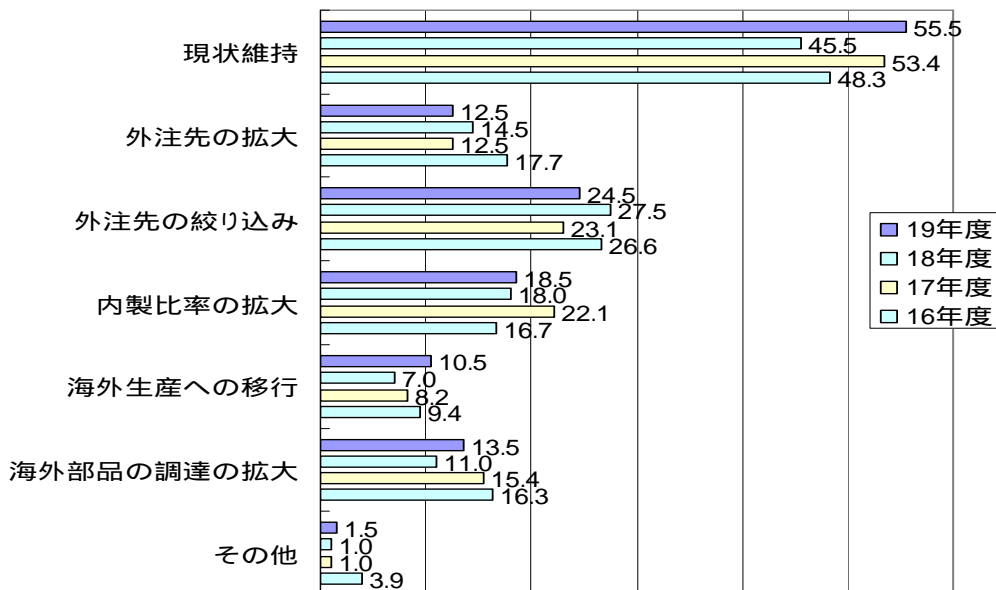


集計表 3 - 4

3) 今後の外注方針（集計表3 - 5）[複数回答]

昨年度半数以下の回答であった「現状維持」は、今年度 10.0%の増加となり、また、減少傾向にあった「海外生産への移行」は、3.5%の上昇へと転じた。その他「外注先の絞り込み」については昨年度対比 3.0%の減少、「外注先の拡大」は 2.0%の減少を示している。

今後の外注方針



集計表 3 - 5

(4) 外注先を探す手段(集計表3-6)

新たな外注先を探す手段としては、「関係者からの紹介」が134件と最も多かった。次に「下請企業からの売り込み」が68件、「ネットでの情報収集」が56件との回答であった。全体として昨年度との比較では同じような傾向であるが、「取引暦」や「系列重視」等今までの取引関係を重視している企業が依然として存在することも回答からは推察される。

	当センターからの紹介	当センター主催の商談会	下請企業からの売り込み	取引先等関係者からの紹介	展示会・見本市等	業界誌・専門誌等	自社HPでの公募	ネットでの情報収集	その他	合計
第1順位	10	17	29	94	10	4	1	16	8	189
第2順位	18	6	39	35	24	7	2	40	2	173
第3順位	12	0	0	5	3	12	0	0	0	32
合計	40	23	68	134	37	23	3	56	10	394

集計表3-6